



# 物流ニッポン

2008年(平成20年)

## 12 | 15 (月)

発行/月曜日・木曜日 第3187号

購読料/半年32,130円(月額5,355円、税込)

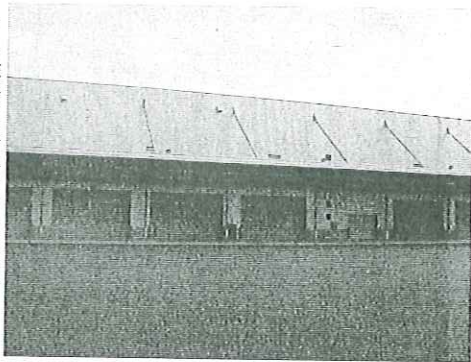
©物流ニッポン新聞社 2008 (昭和44年4月1日第三種郵便物認可)

## 一大物流基地が誕生

### 伊奈センター竣工

#### トワ流通 3PL事業本格展開

【谷本博】十和運送(田上秀雄社長、茨城県つくはみらい市)ケループのトワ流通(同)が、旧伊奈町にあるトワ流通伊奈センター(つくはみらい市)の隣接地に建設していた伊奈物流センターが竣工、今月八日の引き渡しを受け、営業をスタート。既存センターと合わせた敷地面積は三万三千平方メートルを超え、延べ床面積は二万三千平方メートルの規模となり、一大物流基地の誕生となった。今回の拠点新設により、これまで取り組みを進めてきた3PL(サードパーティー・ロジスティクス)事業の本格展開を目指していく。



トワ流通の自社物件としては最大級

常磐自動車道・谷田部インターチェンジから二キロの片側一車線の国道沿いと、交通の要衝に位置。敷地面積二万平方メートルの二階建てで、延べ床面積が一万平方メートル。土地を丸ごと賃借し、自社で建設。十和運送が昨年八月に竣工したつくはみらい物流センター(同市)に匹敵する規模で、トワ流通の自社物件としては最大級となる。

ホームは低床式で大型トラック用に八バスを確保。車両総重量五トまで対応のエレベーターは、二トトラックがその

まま一階まで乗り入れて

きる。垂直搬送機も一基

導入しており、積み込み

作業の迅速化を図っている。

周辺に数か所賃貸している

倉庫からの集約が半分以上を占めるため、

年内にも八割以上のスペースが稼働する見込み。

また、入り口には二階

建て延べ床面積二百平方

メートルの事務所を設置。既存

センターの事務所を統合することで、合理化を追求していく考え。

つくはみらい物流センター建設に際しては、茨城県下で初の物流総合効果促進法の適用となつたが、今回のセンター建設に当たっては3PLの確立をテーマとして、こと九月に県から経営逆にチャンスでもある。

革新支援法の適用承認を荷主の合理化推進のため

に、ある程度の規模の施設が必要となってくる。

同規模の物流拠点建設を計画した。

田上社長は「経済不況を乗り越えていく」と、当面のグループ売上高目標を示す。

百億円達成に向け、意欲を示す。